



小島 大成の  
こんにちは！  
地域おこし協力隊です

# 笠上黒生駅

昭和レトロを残して生まれ変わる

2月上旬完成予定 (小島さん設計)

おしまたいせい  
小島 大成(23) ✉ojimax15@gmail.com  
宮城県出身。高校卒業後、東京のゼネコンへ就職。マンション工場の現場監督を経て、昨年5月、銚子に移住。二級建築士のノウハウを活かし、市内の空き家や建造物を再生する。SNSなどで地方移住のリアルを発信して、移住者呼び込む。

地域おこし協力隊が交代で執筆します  
地域おこし協力隊 Facebook はじめました

## わんぱく登場

双子ちゃん  
2022年2月22日に誕生



住所、氏名、連絡先、お子さんの名前(ふりがな)、生年月日を記入し、写真を郵送またはメールで送付ください。窓口でも受け付けます。  
問 秘書広報課 ☎(24) 8823 <郵送> 〒288-8601 若宮町1-1 <メール> koho@city.choshi.lg.jp

写真  
大募集!

そつだ、地方創生しよう。  
「とにかく、ものづくりが大好き」  
地域おこし協力隊の小島さんは、良いところを残しながら町を作り直す設計士さん。  
「銚子のキャベツ農家さんが古民家をリノベーションする姿に憧れ地域おこし協力隊の門戸を叩いた」  
直近で手掛けたのは老朽化が激しい銚子電鉄笠上黒生駅の駅舎。  
「これまでの景観や面影をどう残していくか。ここが設計のポイント。外壁や内装を改修し、売店スペースを作り出した。風情が感じられるような空間に仕上げている」  
銚子商業の生徒と漆喰塗装をした

り、上山商店協力のもと、工事現場の廃材で植木鉢を設置するなど、みんなの思いが詰まった駅舎が完成した。  
移住後の「今」を拡散中  
「利活用できそうな物件探して市内を飛び回るとき、趣味の食べ歩きも楽しむようにしている」  
フットワーク軽く銚子をフルコースで満喫できるのも移住者の強み。こまめにSNSを更新し、ありのままの移住生活を全国の移住予備軍に届けている。  
「銚子ライフのリアルを発信して、移住するか悩んでいる人の背中を押してあげたい」



広報ちようし  
令和5年2月号第1253号 令和5年2月1日発行  
発行/銚子市 編集/秘書広報課

〒288-8601 銚子市若宮町1-1  
☎0479(24) 8181 (代表)  
http://www.city.choshi.chiba.jp/

広報ちようしは、読みやすく分かりやすいデザインのため、JUD(ユニバーサルデザインソフト)を使用しています。



人のうごき 令和5年1月1日現在 人口 56,372人(-140人) うち外国人住民人口 2,497人  
男 27,455人(-77人) 女 28,917人(-63人) 世帯 26,866世帯(-32世帯) ※カッコは前月比  
令和4年12月中の人口動態 出生 10人 死亡 111人 転入など 125人 転出など 164人